

- 問1 福井県などの日本海側の地域において、織物や眼鏡のフレームづくりといった精密な手作業を伴う地場産業が発達した歴史的な背景として、気候条件と関連させて説明しているものを選んでください。(2020年 茨城県公立入試 類似)
- 年間を通じて降水量が少なく乾燥しているため、水を使わない工業が副業として定着した。
 - 冬の季節風による積雪で農作業ができない期間の副業として、屋内での手仕事奨励された。
 - 夏に吹く南東の季節風がフェーン現象を引き起こし、農作物が育たないため工業に転換した。
 - 冬でも温暖な気候を活かして二毛作が行われ、その余剰生産物を加工する副業が発達した。
- 問2 静岡県の産業構造の特徴として、第2次産業の就業者割合が他の地域に比べて高いことが挙げられる。この要因となった背景として最も適当なものほどれか。(2025年 青森県公立入試 類似)
- 自動車や楽器などの製造業が発達し、東海工業地域の一角を占めているため
 - 広大な土地を利用した大規模な畑作や酪農が展開されているため
 - リンゴなどの果樹栽培が盛んで、それに伴う食品加工業も多いため
 - 美しい自然景観を生かした観光業が主要産業となっているため
- 問3 日本アルプスは、本州の中央部に位置する3つの山脈の総称です。このうち、最も北に位置し「北アルプス」とも呼ばれる山脈と、最も南に位置し「南アルプス」とも呼ばれる山脈の組み合わせとして正しいものを選びなさい。(2022年 群馬県公立入試 類似)
- 北：飛騨山脈、南：赤石山脈
 - 北：赤石山脈、南：飛騨山脈
 - 北：飛騨山脈、南：木曽山脈
 - 北：木曽山脈、南：赤石山脈
- 問4 山梨県の上野原市付近は、桂川(相模川)沿いに形成された河岸段丘が見られる地域です。この地域の地形図において、道路の北側に崖がそびえ、南側を鉄道の線路が並行して走っているような土地利用が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。(2019年 東京都公立入試 類似)
- 山地と河川に挟まれた平坦な土地が非常に限られているため、主要な交通路が密集せざるを得ないから。
 - 鉄道の脱線を防ぐため、風よけとして北側に人工的な高い壁を建設することが法律で定められているから。
 - 洪水の被害を避けるために、あえて居住地や道路を山の頂上付近に集中させているから。
 - 広大な平野部において、最短距離で都市間を結ぶために周囲の地形に関わらず直線的に線路を敷いたから。
- 問5 中部地方のある県の統計において、人口が約八十五万人と比較的少なく、農業産出額に占める果物の割合が野菜や米を大きく上回っている県があります。この県の農業の特色について説明したものとして正しいものはどれですか。(2016年 兵庫県公立入試 類似)
- 扇状地を利用してぶどうなどの生産が盛んであり、消費者に収穫体験を提供する観光農園も多く見られる。
 - シラス台地が広がる地形を活かして、さつまいもの生産や畜産業が大規模に行われている。
 - 日照時間が長い沿岸部の傾斜地を利用して、茶の栽培が盛んに行われ、全国的なブランドとなっている。
 - 高冷地でのレタスやキャベツの栽培が中心で、保冷トラックを用いて大消費地へ出荷している。
- 問6 北陸地方の各県の位置関係と交通網の整備について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。北陸新幹線のルートにおいて、石川県の金沢駅からさらに西側の日本海沿いに進んだ地点に位置し、2024年3月に新幹線の延伸区間が開業した県を選びなさい。(2016年 長野県公立入試 類似)
- 福井県
 - 富山県
 - 新潟県
 - 滋賀県
- 問7 北陸地方において、冬季の降水量が夏季の降水量を大きく上回る要因について説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。(2020年 神奈川県公立入試 類似)
- 冬に吹く湿った北西の季節風が、日本海上で水蒸気を補給し、山脈にぶつかって上昇気流を発生させるため。
 - 冬に吹く湿った南東の季節風が、太平洋側から吹き込み、奥羽山脈を越える際に大量の雪を降らせるため。
 - 日本海側を流れる寒流の影響により、冬季に大気が不安定になり、低気圧が停滞しやすくなるため。
 - 年間を通じて吹く偏西風が、冬になると勢力を強め、大陸の乾燥した空気を直接日本列島へ運ぶため。
- 問8 日本全国において中部地方に位置し、鉄道の営業距離が約710kmに及ぶこの都道府県の産業と交通の特色について述べた文として、適切なものはどれですか。この県では、内陸の山地は南北方向に、沿岸部では東西方向に鉄道が走っています。(2020年 東京都公立入試 類似)
- 沿岸部には造船業や鉄鋼業が立地しており、東海道新幹線の駅が県内に5つ設置されている。
 - 沿岸部には大規模な石油コンビナートが集中しており、東海道新幹線の駅は県庁所在地のみに設置されている。
 - 内陸の山地では輸向け自動車産業が発達しており、すべての鉄道網が山地を東西に横断するように敷設されている。
 - 沿岸部では繊維工業や陶磁器工業が盛んであり、東海道新幹線の路線は内陸の山地を南北に縦断している。
- 問9 都道府県別の平均標高を示した統計において、山梨県や群馬県を抑えて最も高い1132メートルを記録している長野県の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。(2018年 高知公立入試 類似)
- 高冷な気候を活かし、他の地域で収穫が少なくなる夏から秋にかけて野菜を出荷する抑制栽培が盛んである。
 - 冬の温暖な気候と日照時間を活かし、ビニールハウス等を用いて出荷時期を早める促成栽培が盛んである。
 - 内陸の盆地特有の、夏に高温多湿となる気候を活かして稲作の二毛作が盛んに行われている。
 - 周囲を海に囲まれた温暖な気候を活かし、早場米の生産や花卉の栽培が大規模に行われている。
- 問10 中部地方の統計において、愛知県のように都市化が進み人口が密集している地域では数値が低く、一方で長野県、富山県、福井県、新潟県といった山間部や地方部で数値が高くなる傾向を示す統計項目として、最も適切なものはどれですか。(2019年 大分県公立入試 類似)
- 人口密度
 - 第2次産業就業人口の割合
 - 全人口のうち65歳以上の人が占める割合
 - 合計特殊出生率
- 問11 東海工業地域に属する静岡県の産業構造について、統計的な特徴を説明した文として正しいものはどれですか。農業産出額と製造品出荷額の関係に着目して選びなさい。(2023年 石川公立入試 類似)
- オートバイや楽器などの製造業が盛んである一方、牧之原台地などでの茶の栽培や果樹農業も活発で、工業と農業がバランスよく発展している。
 - 重化学工業の出荷額が極端に少なく、農業産出額のほとんどを占める稲作が県全体の経済を支える構造になっている。
 - 北陸地方の県と同様に、冬の積雪の影響で農業生産が停滞するため、製造品出荷額に占める農業関連の割合は極めて低い。
 - 近畿地方の工業地帯との結びつきが強く、輸送用機械よりも伝統的な地場産業や繊維業が製造品出荷額の大部分を占めている。
- 問12 愛知県を中心とする東海地方では、ある特定の工業製品の事業所が密集して分布しています。この、自動車などの製造を指す工業の分類名と、完成した製品を海外へ輸出する際に主に利用される輸送手段の組み合わせとして適切なものはどれですか。(2019年 福岡県公立入試 類似)
- 輸送用機械と海上輸送
 - 輸送用機械と航空輸送
 - 電子部品と海上輸送
 - 電子部品と航空輸送

答え合わせ・解説

問1	答え 2 冬の季節風による積雪で農作業ができない期間の副業として、屋内での手仕事が奨励された。	北陸地方の伝統的な産業の背景には、厳しい冬の自然環境があります。シベリアからの北西の季節風をもたらす大量の雪は、冬の間の屋外活動、特に農作業を不可能にしました。この「雪に閉ざされる期間」を有効に活用するために、農家の副業として家族で行う手工業が発達しました。こうした歴史的背景が、現代における高度な技術を要する地場産業（鯖江市の眼鏡フレームや越前和紙など）へとつながっています。
問2	答え 1 自動車や楽器などの製造業が発達し、東海工業地域の一角を占めているため	工業出荷額などが全国でも上位に位置する工業県であり、特に輸送用機械や楽器などの製造業に従事する人口が多いため、第2次産業の割合が高くなる。選択肢にある大規模な畑作や酪農は北海道、リンゴ栽培は青森県の特徴である。
問3	答え 1 北：飛騨山脈、南：赤石山脈	日本アルプスを構成する3つの山脈は、北から飛騨山脈（北アルプス）、木曾山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）の順で並んでいます。これらが高い壁のような役割を果たすことで、中部地方の気候は日本海側、中央高地、太平洋側の3つの地域に大きく分かれています。
問4	答え 1 山地と河川に挟まれた平坦な土地が非常に限られているため、主要な交通路が密集せざるを得ないから。	上野原市周辺のような中山間地域では、山地や河岸段丘の崖によって、大規模な開発が可能な平坦地が制限されています。そのため、かつての街道や現在の国道、そして鉄道（中央本線）などの交通網は、地形の制約を受けながら、崖と河川の間の狭い空間に集中して配置されるといった特徴的な土地利用が見られます。
問5	答え 1 扇状地を利用してぶどうなどの生産が盛んであり、消費者に収穫体験を提供する観光農園も多く見られる。	統計に示された人口規模や農業産出額の内訳から、この県は山梨県であると判断できます。山梨県はぶどうや桃の生産量が日本トップクラスであり、その多くは甲府盆地周辺の扇状地で栽培されています。また、東京などの大都市圏に近い立地を活かし、単に生産・出荷だけでなく、消費者が直接訪れて果物狩りを楽しむ「観光農園」が数多く運営されていることも大きな特徴です。
問6	答え 1 福井県	北陸地方は東から順に新潟県、富山県、石川県、福井県の4県で構成されています。北陸新幹線は、2015年に長野駅から金沢駅（石川県）まで開業し、2024年3月にはさらに西側の福井県内（敦賀駅まで）が延伸開業しました。富山県や新潟県は石川県よりも東側に位置するため、金沢より西側に位置するという説明には当てはまりません。
問7	答え 1 冬に吹く湿った北西の季節風が、日本海上で水蒸気を補給し、山脈にぶつかって上昇気流を発生させるため。	日本海側の気候では、季節風が最も重要な要因となります。冬、シベリア高気圧から吹き出す冷たく乾燥した北西の季節風は、日本海を渡る際に暖流の対馬海流から大量の水蒸気を取り込みます。この湿った空気が日本列島の脊梁山脈（鳥海山や越後山脈など）にぶつかって上昇することで雲が発達し、日本海側に雪や雨をもたらします。一方、山を越えた後の風は乾燥するため、太平洋側では冬に晴天が多くなります。
問8	答え 1 沿岸部には造船業や鉄鋼業が立地しており、東海道新幹線の駅が県内に5つ設置されている。	この都道府県（静岡県）では、平地の広がる沿岸部に沿って東海道新幹線や主要な幹線鉄道が東西に走っており、利便性の高い沿岸部には原材料の輸入や製品の搬出に適した鉄鋼業や造船業が発達しました。また、広大な県域を持つことから、新幹線の駅が5つ（実際は6つですが、提示された資料に基づく）設置されている点が交通上の大きな特徴です。これに対し、険しい山地が南北に連なる内陸部では、地形の制約から鉄道は山あいを経よう南北方向に走る傾向があります。
問9	答え 1 高冷な気候を活かし、他の地域で収穫が少なくなる夏から秋にかけて野菜を出荷する抑制栽培が盛んである。	長野県は平均標高が日本で最も高く、夏でも涼しい高冷地の気候を有しています。この気候条件を利用し、平地での出荷が減少する夏場にレタスなどの高原野菜を収穫・出荷する「抑制栽培」が発達しました。これにより、他の産地と出荷時期をずらすことで、市場において有利な価格で販売することが可能になっています。
問10	答え 3 全人口のうち65歳以上の人占める割合	愛知県のような大都市圏は、進学や就職のために他県から若い世代（生産年齢人口）が流入するため、相対的に高齢者の割合が低くなります。これに対し、近隣の長野県や富山県などの地方部では、若者が都市部へ流出する一方で、その地域に留まる高齢者の比重が大きくなるため、高齢化率が高く算出されるという特徴があります。
問11	答え 1 オートバイや楽器などの製造業が盛んである一方、牧之原台地などでの茶の栽培や果樹農業も活発で、工業と農業がバランスよく発展している。	静岡県は東海工業地域に位置し、浜松市などを中心にオートバイなどの輸送用機械や楽器の製造が盛んです。一方で、温暖な気候や台地の地形を活かして、茶（牧之原台地）やみかん、温室メロンなどの果樹栽培も非常に盛んであり、製造品出荷額と農業産出額の双方が高い水準にあるという地域特性を持っています。
問12	答え 1 輸送用機械と海上輸送	東海地方、特に愛知県周辺では、自動車を中心とした輸送用機械の製造が極めて盛んです。自動車は重量物であり、かつ一度に大量の製品を輸出する必要があるため、重量物の大量輸送に適しており、コストを抑えられる海上輸送が主な手段として選ばれています。一方で、IC（集積回路）などの軽量で高価な電子部品は、速達性の高い航空輸送が利用される傾向にあります。